

第1回 退院調整担当者と介護支援専門員との意見交換会

(グループワークまとめ)

1. 連携が上手くいっている点

<退院調整担当者>

- ・ケアマネが暫定で介護保険のケアプランを作成してくれる。
- ・病院から施設に情報を提供する。
- ・相談支援事業所が関わっていることが分っていると退院前に声かけしやすい。
- ・入院時に介護保険の確認をして連絡するようにしている。
- ・家族のいない方がいて、生活状況をケアマネに連絡して、ついてきて頂いて情報を聞くことが出来た。
- ・施設内部（担当 NS、介護士等）の連携が上手くとれているので、外部とも問題なく行えている。
- ・連携はとれていると思う。急性期で科や病床状況によって在宅準備の時間をとる了承をいただける場合とそうでない場合とがあるので、急な依頼や急な退院をお願いする事があり、申し訳なく思っています。
- ・次の行き先探しが大変なので、急な退院をお願いする場合もある。今度から空床状況を流して円滑な活用をして頂けるよう情報を流していきたい。
- ・入院患者様は独居の方や身寄りのいない方が増えており、入院前から関わっているケアマネからの情報は非常に助かっている。

<介護支援専門員>

- ・連携シートに退院の目途を記入して欲しい。
- ・要介護の方は家族から入院の連絡が来るが、要支援の方は来ず、介護度で温度差がある。
- ・同じ事業者と連携がとれる。
- ・サマリーが送られる。
- ・入院時点で退院支援担当者よりケアマネへ連絡してくれる（入院時、第1回目の連絡）
- ・入院時の初回カンファに参加。ケアマネへ連絡があり情報共有し、計画を立てることができる。その後、退院前カンファなどにも参加できて良かった。
- ・病状説明時に同席依頼があり、ケアマネが参加して良かった。
- ・病棟と連携室がスムーズな場合は良かった。
- ・個人病院との連絡は密に Dr.に聞けるのが良い。
- ・退院前に連絡があると準備ができて良かった。
- ・特養で病院受診時（精神科）24H チェックシートを活用して良かった。
- ・生活状況の写真をとって連携をとった。
- ・急性期入院には MSW がおられ、退院時カンファレンスを実施。情報提供をしない時もありケースバイケース。
- ・入院時 MSW から連絡があり連携がとれている。
- ・退院の方向に向かう前に、一緒に退院に向かって考え支援している。
- ・入院の病院が鹿児島市の場合、なかなか連携がとれず、連携した時には退院されていたことがあった。
(市外の病院との連絡をとりにくい)

- ・市民病院とのやりとりは MSW と同じ系列なので顔が見えて連携しやすい。
- ・入院された場合、連絡がもらえれば連絡しやすい。
- ・ケアマネが必要な情報を持って行き、SW との連携を密に図り、退院カンファレンス時に NS、Dr.等から情報を得ることができた。
- ・状況変化時に、その都度連携をとることでケアマネが知らなかった家族情報を教えてもらった。
- ・医療面等、分らない事も教えてもらった。
- ・独居で身寄りのない方に関して、退院支援 NS が主になりケアマネの話を聞いてくれた。その後、ケアマネに変わり、病院カンファレンス開催時、時間をかけ話してくれて老健に入所できることとなり、心強かった。
- ・入院中は、まめに足を運び NS との連携もとっていた (SW 以外に)。
- ・退院時期がわかっていると、うまくいきやすい。
- ・家屋調査後、リハビリ内容を追加して下さる。
- ・入院前に連絡をもらっているのを助かる。
- ・カンファレンスを開いてもらって助かっている。
- ・主治医の病院とは上手くいっている。
- ・面識のない方々との間に入ってもらえる。
- ・情報提供 (ADL 等) を頂けて助かっている。
- ・入院中の経過を随時報告して頂き助かっている。退院日も早めに教えて頂いている。
- ・退院前カンファ、看護サマリー等、文書で頂けているので助かっている。
- ・入院前に情報提供していると、退院時に情報をもらえる。
- ・連携室との関係をしっかりとれていると連携を行っていきやすい。
- ・情報を勝手にとりにいっている。病院の相談員がいないところでは連携がとりにくい。ギリギリに言われるとバタバタしてしまう。
- ・専用 (事業所) のシートを用いて、入院時に提供している。また、退院時に情報をもらう時にも事業所でシートを準備している。
- ・新規利用者の場合も早めに連絡をとって話をすすめる。
- ・地域の病院との顔合わせ。

<共通>

- ・家屋調査、退院カンファレンスが行われている。
- ・日常的に顔が見える関係ができています。普段からの関わり (電話、顔合わせ) が大切。

2. ①連携が上手くいっていない点

<退院調整担当者>

- ・ケアマネの名前が分からない利用者や家族がいる。
- ・ケースごとに全て入れず、必要なケースのみ関わる。
- ・ケアマネから変化したら教えて下さい。と言われても「変更申請」のタイミングがつかみにくい。
- ・入院中、家族が勝手に変更していて退院時、級が変わって調整に困ったことがあった。

- ・ Dr.同士で話がすすんでいて、連携室が知らないことがある。
- ・ 退院の時に關っている事業所が分らない。
- ・ 日曜日の退院の時に連絡をすることができない。
- ・ 誰がケアマネなのか分らないので事前に連絡してほしい。
- ・ 施設の方に入所される場合、居宅担当のケアマネとの調整はしてもらえないのか。入院して施設へ入所時は、区分変更などは居宅ケアマネもフォローしてくれるのではないのか？
- ・ 入院中に更新や区分変更をかけて結果が出ないまま引き継いでいかなければならない場合もある。(入院中、期間が切れてしまっていた場合がある)。療養型病院入院中での切り換えが悩む。
- ・ 退院が早いとき、医師に確認する時間を取り辛い。
- ・ 要支援から要介護へ変更になった時、方針は決まっていけないのに、ケアマネだけ変わる話がある。
- ・ 入院中に介護保険を申請して、結果が出ていなくても受けてもらいたい。
- ・ 入院前から情報提供をもらいたい。

<介護支援専門員>

- ・ 連絡なしに退院あり。
- ・ 入院期間の目途が知りたい。
- ・ 一週間前に退院の連絡があれば助かる。
- ・ ケアマネへ医療情報がいかない。
- ・ MSW、退院支援担当者がいない病院、事業所との連絡。
- ・ 連携室がない場合、情報をどこに持って行けば良いか分らない。
- ・ 情報提供しても病院によっては不要と言われることがある。
- ・ 急な退院、又は既に退院されている方もいた。
- ・ 入院したのを気付かなかった。最終訪問から時間が経って分った。
- ・ 相談員が窓口だと思うが、病棟なのか連携室なのかよく分らない。
- ・ 書類(サービス照会書)など、あちこち回される。
- ・ 入院中に病院で区分変更をかけられている時があり、変更になっている事も知らない時もある。
- ・ 入院が短期間の場合は、連絡されない時がある。
- ・ 中規模の病院等、担当者が決まっておらず誰に連絡をとってよいか分らない。
- ・ 担当者がNSの場合、勤務の状況が分らない。
- ・ 連携室とのアポ取りが大変。
- ・ 病院によって対応が違う。
- ・ 大きな病院は相談員まで情報がいかない。
- ・ 退院前に住改事業所が不在だと、PT、MSWと認識がずれる。
- ・ 連携室がないところは、誰に言っているかわからない。
- ・ ケアマネがついているのに、サービスを決めてこられる。
- ・ 医療機関の知識がなく、病院に行った際、どの様に情報をとれば良いか。
- ・ どの病院に連携室があるか分らない。
- ・ 病院によってルールが違う。
- ・ 認定結果が出る前に退院になると難しい。

- ・退院前カンファでは専門用語が多く使われる。
- ・窓口が分らない。
- ・市外（遠方）については、カンファレンスでお声かけ頂いても行けないことがある。（紙ベースで情報提供をもらう）

<共通>

- ・住宅改修（家屋調査）の時、セラピストが色々取り付けるように言う。

2. ②どのようにすれば連携が上手く図れるか。

<退院調整担当者>

- ・医療保護のお願いをされることがあるが、自傷・他害が基本。理解をお願いしたい。
- ・入院の時、情報を下さると助かる（前と変化がない時は電話でも）。
- ・入院中、状態悪化した場合、区分変更は担当ケアマネに連絡する。
- ・介護保険利用の患者様が入院された場合には、病院から居宅ケアマネに連絡する。
- ・退院前カンファで顔の見える連携をしていけば、回数を重ねることで上手くいくのではないかな。
- ・退院の日程をできるだけ早く伝える。

<介護支援専門員>

- ・金銭管理、経済力などが分ればいい。
- ・情報提供（栄養等）が参考になる。
- ・在宅に帰れるか、本人と外出してみる。
- ・退院前の連絡調整（ADLの確認）。
- ・病院と自宅のずれを縮める。
- ・ケアマネからも積極的に連絡をとる（相談員とケアマネの共通理解）。
- ・退院の日時が決まらなくても早めに教えてほしい。（1～2ヶ月前などからでもOK）
- ・退院前カンファはできれば2回してほしい。
- ・窓口をはっきり決めてほしい。（病棟なのかどこか）
- ・ケアマネが入院時に必要な情報をなるべく早く提出することが連携につながる。
- ・担当者を明確にする。
- ・転院なのか、退院なのか、在宅か施設など、早めにわかると動きやすい。

<共通>

- ・いつまでに何の情報が必要か等、具体的に伝えることも必要。
- ・情報シートでお互いの連携がうまくいく。